

13. 廃棄物

(1) 福増クリーンセンター・平蔵一般廃棄物最終処分場・臨海衛生工場概要

福増クリーンセンター焼却処理施設概要

区分		工場名	第一工場	第二工場
着工・竣工 および 稼働年月			(着工) 昭和56年11月 (竣工) 昭和59年 6月 (稼働) 昭和59年 6月	(着工) 平成3年12月 (竣工) 平成6年10月 (稼働) 平成6年10月
建屋面積			(建築) 2,890m ² (延床) 5,289m ²	(建築) 2,594m ² (延床) 7,074m ²
施工業者			日本鋼管(株)	(株) 荏原製作所
処理方式・ 処理能力			全連続燃焼式(ストーカ炉) 300t/日(100t/日×3炉)	全連続燃焼式(流動床炉) 220t/日(110t/日×2炉)
設備概要	受入供給設備		トラックスケール 3基(第一第二工場の共用) ごみクレーン 2基 ごみピット 3,400m ³	ダンピングボックス 1基 ごみクレーン 2基 ごみピット 3,300m ³
	燃焼ガス冷却設備		廃熱ボイラ 3基	廃熱ボイラ 2基
	排ガス処理設備		減温装置 3基 集じん装置(バグフィルタ) 3基 有害ガス除去装置 1式	減温装置 2基 集じん装置(バグフィルタ) 2基 有害ガス除去装置 1式
	通風設備		押込送風機 3基 空気予熱器 3基 誘引送風機 3基	一次・二次押込送風機 各2基 空気予熱器 2基 誘引通風機 2基
	排水処理設備		場内循環再利用システム	場内循環再利用システム
	発電設備		—	タービン発電機: 1基(出力2,500kW)
	事業費		5,364,000千円	10,403,000千円

※: 第一工場は平成7～8年度に基幹改良工事 (事業費3,296,000千円)

18～21年度に延命化工事を実施 (事業費3,780,000千円)

第二工場は12年度にダイオキシン類対策工事 (事業費 164,850千円)

18年度に飛灰搬出設備改良工事を実施 (事業費 144,900千円)

26～28年度に基幹改良工事を実施 (事業費5,432,400千円)

福増クリーンセンター粗大ごみ処理施設概要

区分		工場名	第一粗大ごみ処理施設	第二粗大ごみ処理施設
着工・竣工 および 稼働年月			(着工) 昭和60年7月 (竣工) 昭和61年3月 (稼働) 昭和61年4月	(着工) 平成6年9月 (竣工) 平成8年3月 (稼働) 平成8年4月
建屋面積			(建築) 1,049m ² (延床) 1,227m ²	(建築) 1,636m ² (延床) 2,902m ²
施工業者			富士電機総設(株)	三菱重工業(株)
処理能力			回転式破砕機 55t/5h 切断機 5t/5h 計 60t/5h	粗大ライン 65t/5h 回転式破砕機 60t/5h 切断機 5t/5h 資源ライン 48t/5h 缶機械選別設備 18t/5h びん手選別設備 30t/5h 計 113t/5h
設備概要	受入供給設備		ごみ貯留ピット 350m ³ ごみクレーン 1基	ごみ貯留ピット 608m ³ ごみクレーン 1基 ダンピングボックス 1基
	選別設備		磁選機 1基 アルミ選別機 1基 慣性選別機 1基 篩選別機 1基	磁選機 2基 アルミ選別機 2基 不燃・可燃物選別装置 1基 カレット手選別コンベヤ 1基 リターナブルびん手選別コンベヤ 1基
	破砕圧縮設備		—	粗破砕機 1基 フロンガス回収装置 2基
	再生設備		—	金属圧縮機(鉄・アルミ) 2基
	集じん設備		サイクロン 1基 バグフィルタ 1基	サイクロン 1基 バグフィルタ 1基
	排水処理設備		焼却施設の場内循環再利用システムにより処理	
	事業費		606,720千円	3,099,270千円

※: 第二粗大ごみ処理施設の切断機は第二工場(焼却処理施設)に設置

市原市平蔵一般廃棄物最終処分場B2地区概要

着工・竣工 および 稼働年月		(着工) 平成5年 6月 (竣工) 平成6年12月 (稼働) 平成7年 2月
埋立容量・面積		(容量) 336,000m ³ (面積) 31,500m ²
埋立方式		準好気性衛生埋立
施工業者		(土木工事) 鹿島建設(株) (浸出水処理施設) ユニチカ(株)
設備概要	土木工事概要	擁壁、えん堤 : 土堰堤(堤高15m、堤頂長70m) 遮水工 : 底部……………合成ゴムシート +不織布10mm(底部) 4mm(上部) 雨水集排水設備 : 斜面部……………合成ゴムシート+不織布 汚水集水設備 : U字溝(φ300~360mm、L=1,092m) 沈砂池 : 有孔ヒューム管(φ150~1,000mm、L=3,790m) 防火設備 : 744m ³ 飛散防止設備 : 防火水槽(40m ³) : ネットフェンス(H=1.8m、L=811m)
	浸出水処理施設概要	処理方式 : 生物脱窒素処理、物理化学処理併用方式、高度処理 処理能力 : 平均処理量56m ³ /日(最大処理量265m ³ /日) 処理水質 : BOD 10mg/L以下 COD 10mg/L以下 T-N 10mg/L以下 SS 10mg/L以下
事業費		1,590,320千円

臨海衛生工場概要

着工・竣工 及び 稼働年月		(着工) 昭和61年12月 (竣工) 平成元年 3月 (稼働) 平成元年 3月
建屋面積		(建築) 2,024m ² (延床) 3,012m ²
施工業者		(株) 西原環境衛生研究所
処理方式		し尿系処理方式: 標準脱窒素処理方式+凝集沈殿分離方式 浄化槽系処理方式: 前ばっ気方式+固液分離処理方式
処理能力		し尿(65kL/日) 浄化槽汚泥(230 kL/日) 計 295kL/日
施設周辺状況		工業専用地区
設備概要	受入貯留設備	スクリーン(し渣の処分は、場外搬出)
	ばっき方式	散気式
	希釈水の種類	下水二次処理水
	汚泥の処理処分	脱水・場外搬出
	高度処理	凝集沈殿分離
放流水質		酸・アルカリ薬液洗浄
		pH: 5.8~8.6 BOD: 20mg/L以下 COD: 40mg/L以下 SS: 20mg/L以下 T-N: 20mg/L以下 T-P: 1mg/L以下 色度: 150度以下 大腸菌群数: 3,000個/mL以下
放流または圧送先		し尿: 養老川 浄化槽汚泥脱離液: 松ヶ島終末処理場
事業費		2,458,900千円

※: 13~14年度に臨海衛生工場し尿処理施設改良工事を実施 (事業費 517,020千円)